

# COIL 型授業実践紹介

## Vol. 12

Nanzan University

Course : 英語 III コミュニケーションスキルズ[FA, FF, FS, FG]3

Teacher : 都築 千絵

Faculty : 外国語教育センター

**Year・Quarter** 2021 年度・第 3 クォーター

**Partner Institution** University of Maryland, Baltimore County (UMBC)

**Course Name** Going Glocal

**Teacher** Caylie Middleton

**COIL Category** Academic COIL

**Enrollment** Nanzan 20, UMBC 13

**Language** English

**Tech Tools** Flipgrid, Zoom

### Project's Outline

- ・自己紹介ビデオ作成。パートナー校からの自己紹介ビデオに少なくとも 3 人に対してビデオあるいはコメントで返信。
- ・教育に関する 7 つのトピック（入試制度、外国語教育、K-12 カリキュラムなど）で学生を Group に分け、相手校のピアグループへの質問ビデオをグループで作成。
- ・ピアグループからの質問ビデオに、ビデオで返信。
- ・ペアグループの返信から得た情報を用いて、グループのトピックに関して日本とアメリカあるいはメリーランド州での相違点、類似点についてスライドを用いた 8 分のプレゼンテーションを Zoom で作成し Flipgrid でシェア。

（Flipgrid 上でのやり取りは一人 6 回以上 + グループプレゼンテーションビデオ 1 回のシェア）

### Evaluation

Flipgrid 上でのビデオによる交流 : 10%

グループプレゼンテーションビデオ : 20%

### Teacher's Comment (Nanzan)

Q1, Q2 で同じクラスを担当し、このクラスなら英語を使って COIL をすることが充分できると判断し、パートナー教員を紹介してもらった。お互いに初めての COIL であったが、パートナー教員とは計画時から終了するまで Zoom とメールで連絡を取り合い、最後のプ

レゼンテーションまで予定通りに進められて良かった。学生の COIL に関する関心はシラバス説明時からとても高く、COIL 終了後のアンケートでは、同世代の海外の大学生と交流ができたことを喜んでいる学生が多かった。また、交流期間中はとても忙しかったが、プレゼンテーションを終えて達成感が大きいと書いている学生もいた。時差のため学生が相手校の学生と対面で話す機会を設けなかったが、実際に話したかったという意見もあった。グループによっては、相手校のピアグループのビデオ提出の遅れや、内容が不十分で苦労したこともあった。Flipgrid でシェアしたビデオは、教室での授業がなかったため、Zoom で作成したものをアップした。最後のグループプレゼンテーションビデオでは、ピアグループから得た情報を理解してまとめ、発音に気を配りながら堂々と発表しており誇らしかった。